

政治生态学的生态学：生态政治学

本文 译者

于 2013年9月20日，译者 [John Malone](#)

由 André Gorz [生态学家] 和 Marc Robert [生态学家] 在 2005 年的 [EcoRev' 21](#) 上 *Figures de l'écologie politique* 一文中提出。

政治生态学的生态学 **Le Traître**（叛徒）是生态学的一个分支，由

1943 年出生的 Jean-Marie Vincent [1]（1943-2010）在 1971 年提出。Jean-Marie Vincent [1] (1943-2010) 在 1959 年与生态学家 [2] (生态学家) Marx [马克思] 一起创立了生态学组织 *Futur Antérieur* [3]。1990 年，Stefen Meretz [4] (生态学家) Oekonux [生态学组织] 提出了“生态学的政治”。

1947 年出生的 Dorine [生态学家] 在 1990 年提出了“生态学的政治”。Dorine [生态学家] 在 1990 年提出了“生态学的政治”，并将其命名为 *L'Être et le Néant* (存在与虚无)。Dorine [生态学家] 在 1990 年提出了“生态学的政治”，并将其命名为 *L'Être et le Néant* (存在与虚无)。

政治生态学的生态学 **Le Traître** [5] (叛徒) 在 1954 年由生态学家 [5] (生态学家) 50% [生态学家] 50% [生态学家] 提出。

政治生态学的生态学 **Le Traître** [5] (叛徒) 在 1954 年由生态学家 [5] (生态学家) 50% [生态学家] 50% [生态学家] 提出。

1960-1970年代のフランス思想界で、サルトルの「批評的辩证法」(Critique de la raison dialectique)が注目される。この時期は、社会構造主義や構成主義など、複数の理論流派が並んでいた。

1968年の五月革命では、学生たちが主導権を握り、社会変革を求める運動が展開された。これは、既存の政治体制に対する不満や、労働条件の改善などを目的としていた。また、アーヴィング・カーンの「Convivialité」(6)や、ジョン・ローリーの「Retooling Society」などの著作も、この時代の議論に大きな影響を与えた。

1970年代には、サルトルの「批評的辩证法」(Critique de la raison dialectique)が注目される。この時期は、社会構造主義や構成主義など、複数の理論流派が並んでいた。また、アーヴィング・カーンの「Convivialité」(6)や、ジョン・ローリーの「Retooling Society」などの著作も、この時代の議論に大きな影響を与えた。

1970年代後半から80年代初頭にかけて、アーヴィング・カーンの「Convivialité」(6)や、ジョン・ローリーの「Retooling Society」などの著作が注目される。この時期は、社会構造主義や構成主義など、複数の理論流派が並んでいた。

1970年代後半から80年代初頭にかけて、アーヴィング・カーンの「Convivialité」(6)や、ジョン・ローリーの「Retooling Society」などの著作が注目される。この時期は、社会構造主義や構成主義など、複数の理論流派が並んでいた。

1970年代後半から80年代初頭にかけて、アーヴィング・カーンの「Convivialité」(6)や、ジョン・ローリーの「Retooling Society」などの著作が注目される。この時期は、社会構造主義や構成主義など、複数の理論流派が並んでいた。

アーヴィング・カーンの「Convivialité」(6)や、ジョン・ローリーの「Retooling Society」などの著作が注目される。この時期は、社会構造主義や構成主義など、複数の理論流派が並んでいた。

「Au-delà du socialisme」(7)や、「Adieux au prolétariat」(8)などの著作が注目される。この時期は、社会構造主義や構成主義など、複数の理論流派が並んでいた。

1970年代後半から80年代初頭にかけて、アーヴィング・カーンの「Convivialité」(6)や、ジョン・ローリーの「Retooling Society」などの著作が注目される。この時期は、社会構造主義や構成主義など、複数の理論流派が並んでいた。

アーヴィング・カーンの「Convivialité」(6)や、ジョン・ローリーの「Retooling Society」などの著作が注目される。この時期は、社会構造主義や構成主義など、複数の理論流派が並んでいた。

1970年代後半から80年代初頭にかけて、アーヴィング・カーンの「Convivialité」(6)や、ジョン・ローリーの「Retooling Society」などの著作が注目される。この時期は、社会構造主義や構成主義など、複数の理論流派が並んでいた。

アーヴィング・カーンの「Convivialité」(6)や、ジョン・ローリーの「Retooling Society」などの著作が注目される。この時期は、社会構造主義や構成主義など、複数の理論流派が並んでいた。

アーヴィング・カーンの「Convivialité」(6)や、ジョン・ローリーの「Retooling Society」などの著作が注目される。この時期は、社会構造主義や構成主義など、複数の理論流派が並んでいた。

[8]

[1] Jean-Marie Vincent [凡爾納・維森] (1934-2004) 『シナジー (シナジイ)』 Toni Negri [トニ・ネグリ] 『シナジー
のFutur Antérieur』 『Fétichisme et Société』 Anthropos, 1973, *La Théorie critique de l'école de Francfort*, Galilée, 1976 ; *Les Mensonges de l'Etat*, Le Sycomore, 1979 ; *Critique du travail. Le faire et l'agir*, Presses universitaires de France [出版社], 1987 ; *Max Weber ou la démocratie inachevée*, Le Félin, 1998 ; *Un autre Marx. Après les marxismes*, Page Deux, 2001

[2] *Le Manifeste communiste* [マニフェスト・ド・コムン] (1848) ; *Capital* [カピタル] (1868) ; *Grundrisse der Kritik der politischen Ökonomie* (1857-1868) ; <http://www.marxists.org/archive/marx/works/1857/grundrisse/>

[3] 『Futur Antérieur』 1990 Jean-Marie Vincent [凡爾納・維森] Denis Berger [トニ・ネグリ] Toni Negri [トニ・ネグリ] 『シナジー (シナジイ)』 1998
http://multitudes.samizdat.net/rubrique.php3?id_rubrique=117

[4] Stefen Meretz [ステファン・メレツ] ; Ökonux (Linux) Ökonomie (1980) 『シナジー (シナジイ)』

[5] 『Le Traître』 Seuil [シナジー (シナジイ)] ; *Le Traître* (1958) [シナジー (シナジイ)], *La Morale de l'histoire* (1959) [シナジー (シナジイ)], *Le Socialisme difficile* (1967) [シナジー (シナジイ)], *Réforme et Révolution* (1969) [シナジー (シナジイ)], *Galilée* [シナジー (シナジイ)], *Écologie et Politique* (1980) [シナジー (シナジイ)], *Écologie et Liberté* (1977), *Adieu au prolétariat* (1980), *Métamorphoses du travail, quête du sens* (1988) [シナジー (シナジイ)], *Misères du présent, richesse du possible* (1997), *L'Immatériel* (2003) [シナジー (シナジイ)]

[6] Ivan Illich [イヴァン・イリチ] ; *La Convivialité* ; *Cœuvres complètes*, volume 1, Paris, Fayard, 2004 ; *Tools for Conviviality* [ツール・フォア・コンビネイビリティ] ; *Tools for Conviviality* [ツール・フォア・コンビネイビリティ]

———
———

[7] 卡爾·馬克思 [Karl Marx], *Grundrisse der Kritik der politischen Ökonomie*, Berlin, Dietz Verlag, 1953, p. 596 [莫伊謝·波斯通 (Moishe Postone) 著《Time, Labour and Social Domination》, Cambridge University Press, 1993, p. 363]

[8] 卡爾·馬克思 [Karl Marx], *Grundrisse der Kritik der politischen Ökonomie*, p. 231

[9] 彼得·格洛茨 [Peter Glotz] 著《Le Travailleur cognitif (Der Wissensarbeiter) / La Société accélérée (Die beschleunigte Gesellschaft)》, Université d'Iéna (1999) 論文, L'Institut de recherche sur les médias à l'Université de Saint-Gall (2005)